
簡易経路測定装置（E-BI5）説明書

作成者	経路測定研究会
作成日	2017年1月25日
最終更新日	2017年1月25日

目次

簡易経絡測定装置(E-BI5)説明書.....	1
目次.....	2
システム構成.....	3
機器・用品一覧.....	3
簡易経絡測定装置(E-BI5)本体.....	3
間電極.....	4
不関電極(手首用).....	4
不関電極(足首用).....	4
ゲル剤・ゲルシート.....	5
添付ソフト.....	6
簡易経絡測定装置(E-BI5)システム.....	6
PicoScope 社 ソフトウェア.....	6
利用可能なパソコン(PC).....	7
ソフトのインストール.....	7
オシロスコープ用ソフトのインストール.....	7
簡易経絡測定(E-BI5)システム.....	8
簡易経絡測定(E-BI5)システム プログラム解説.....	8
メインメニュー.....	8
測定.....	8
表示印刷.....	15
履歴.....	21
メニューバーの処理.....	23
測定準備.....	27
電源.....	27
椅子とテーブル.....	27
機器接続.....	28
被検者との接続方法.....	30
不関電極の装着.....	31
関電極のセット.....	31
測定.....	32
プログラムの実行.....	32
ご注意.....	33

システム構成

機器・用品一覧



図-1

簡易経路測定装置(E-BI5)本体

本体装置は、Pico Technology 社製オシロスコープ装置(PicoScope PS-2204)に当会製作の制御装置を付加して構成しています。両者装置間は粘着マジックテープで張り付け固定しています。

(両者を接続している3本のケーブルを外してPicoScopeを分離すれば、本来のオシロスコープとしても使用可能です。)



図-2 前面



図-3 背面



①PICO LED (不使用コネクタ)

②E-BI LED ③電源スイッチとLED

図-4

①PICOSCOPE 側 LED

・給電中:点灯(暗) ・測定作業中:点灯(明)

②E-BI LED

・給電中:緑色点滅 ・赤色点滅:ポイント測定中

③電源 LED

・装置電源給電中:点灯

間電極



図-5 間電極

本体上部の黒い凸部が読取ボタン



図-6 持ち方

人さし指で読取ボタンを押します。

不関電極（手首用）

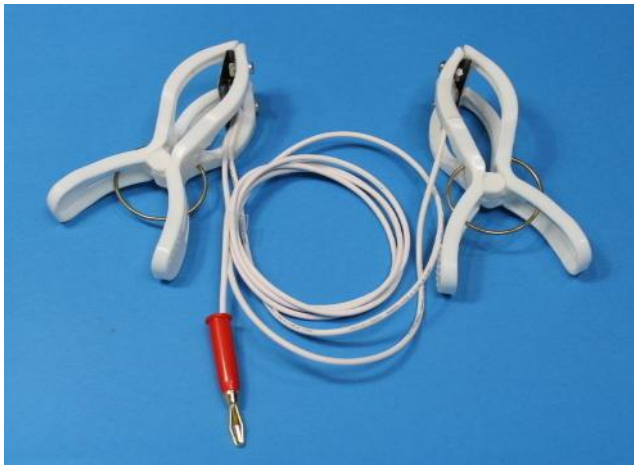


図 7



図 8

不関電極は、手または足に装着します。
1回の全井穴測定を通して、手か足かの一方に固定します。

不関電極（足首用）



図 9



図 10

ゲル剤・ゲルシート



不関電極の金属面に塗布するゲル剤です。

図 11

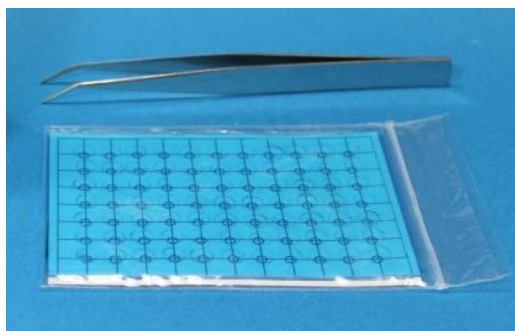


図 12

関電極に張り付けるゲルシートです。
直径 6 mm の円形片をピンセットで剥がして、関電極の金属面に貼り付けます。

添付ソフト

簡易経絡測定装置 (E-BI5) システム



図 13

E-BI5 経絡測定システムプログラムです。

メインフォルダー

¥E-BI5¥

E-BI5.EXE … 簡易経絡測定 (E-BI)システム
 E-BI5.INI
 ARAGOWQS.DLL
 ARGEXT.DLL
 ARGIMM32.DLL
 ARGMCI32.DLL
 ARGNET32.DLL
 ARGRUN.DLL
 ARGUT16.DLL
 ARGUT32.DLL
 USBCHECK.DLL…PS2105 接続チェックプログラム
 PS2204AD.DLL … PS2105 制御プログラム

サブフォルダー

¥固定¥

alert.jpg
 BEEP_H.wav
 BEEP_L.wav
 CALC.STRU
 chimes.wav
 desktop.ini
 RETRY.WAV
 USB 接続.jpg
 上半身前面.jpg
 上半身背面.jpg
 井穴 24.DBF
 井穴 245.jpg
 井穴 245 逆.jpg
 井穴名 6.DBF
 井穴手足 YX.DBF
 手平.jpg
 手甲.jpg
 経絡と症状.DBF
 経絡流注.DBF
 経絡関連.STRU
 虚実疾患.DBF
 要穴図座標.DBF
 設定 N.DBF
 足.jpg
 陰陽 6 経.DBF
 陰陽 6 経.STRU
 集計 12 経 N.STRU
 盤面_LED.jpg

¥Data¥

AMIDATA.DBF

¥DOC¥

E-BI5 説明書.pdf

PicoScope 社 ソフトウェア

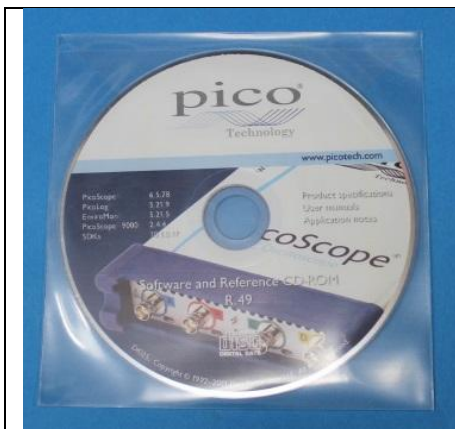


図 14

autorun.inf
 pico.exe
 PicoAutomotiveCatalogue.pdf
 PicoCatalogue.pdf
 readme.txt

サブフォルダー

¥document¥

~内容省略~

¥fscommand¥

~内容省略~

¥software¥

~内容省略~

¥utilities¥

~内容省略~

Pico Technology 社 オシロスコープ(PS-2204)の添付 CD です。

(他の添付品<説明書・プローブ等>もそのまま同梱します。)

最新版ソフトは、 <https://www.picotech.com/> で提供されています。

利用可能なパソコン (PC)

WindowsXP/7/8.1/10 で動作確認しています(*1)。Windows8.0 では、画面表示が乱れました。
モニタ画面は、1024×768ドット以上が必要です。
添付 E-BI5 ソフトは、複数台のパソコンにセットしてご利用戴けます。
個々のパソコンの利用環境の問題で、本システムが使用できなかった場合は、返品してください。

ソフトのインストール

オシロスコープ用ソフトのインストール

読取装置(PicoScope)は接続していない状態で、CD 内の pico.exe を実行してください。
通常、CD-ROM をドライブに挿入すると、操作ガイド画面が表示されます。

①
pico.exe を起動すると、次の画面が表示されます。



図 15



図 16

「Install Software」

「English」選択

③
この後、ガイダンス画面表示に従って、次のように操作してください。

- 「Install PicoScape and PicoLog」
- 「Install PicoScape 6」
- 「日本語」
- [F]使用許諾契約の条項に同意します。
-



図 17

デスクトップに PicoScope のアイコンが作成されます。

⑤オシロスコープソフトのインストール確認

(1)読取装置(PicoScope)の USB ケーブルを直接パソコンに差し込んでください。

(2)デスクトップの「PicoScope」をクリックしてください。

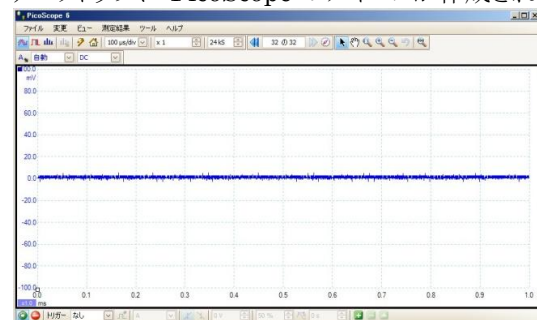


図 18

この画面が表示されれば OK です。

この画面は、装置使用環境のノイズの観測に利用できます。

簡易経路測定 (E-BI5) システム

インストールプログラムは、ありません。
CD-ROM 内の¥E-BI5¥フォルダー全体をパソコンの任意ドライブにコピーしてください。
E-BI5.EXE がメインプログラムです。
(例えば、D:¥E-BI5¥のように転送した場合、D:¥E-BI5.EXE を起動します。)
操作しやすいように、デスクトップ上に E-BI5.EXE のショートカットを作成しておくといでしょう。
(ショートカットは、¥E-BI5¥フォルダーを開く → E-BI5.EXE を右クリックしながら → デスクトップ → 指を離す → 「ショートカットをここに作成する」という操作でできます。)

簡易経路測定 (E-BI5) システム プログラム解説

メインメニュー

※以下「E-BI2」「E-BI」の画面を例示していますが「E-BI5」でも変わっていません。



図 19

測定

【測定】

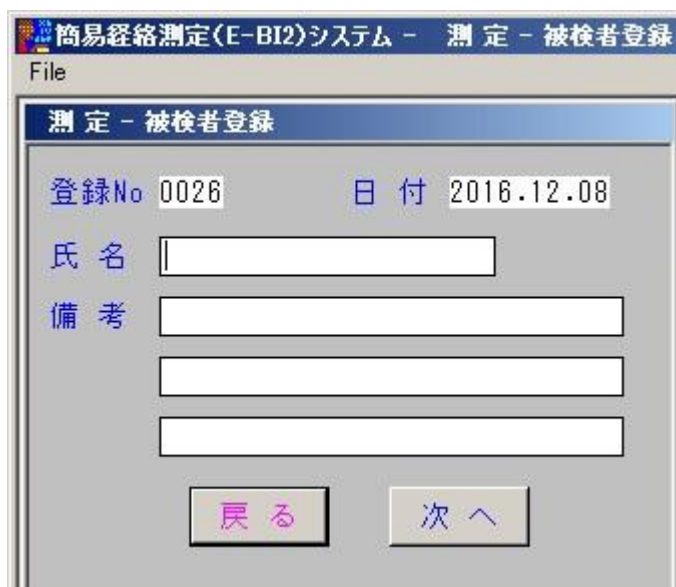


図 20

「氏名等」には、被検者に付与したコード番号と共に、登録しておくとい便利す。
例えば、「履歴表示」の際、被検者名がコード番号順に表示されるので、検索が容易になります。

【次へ】

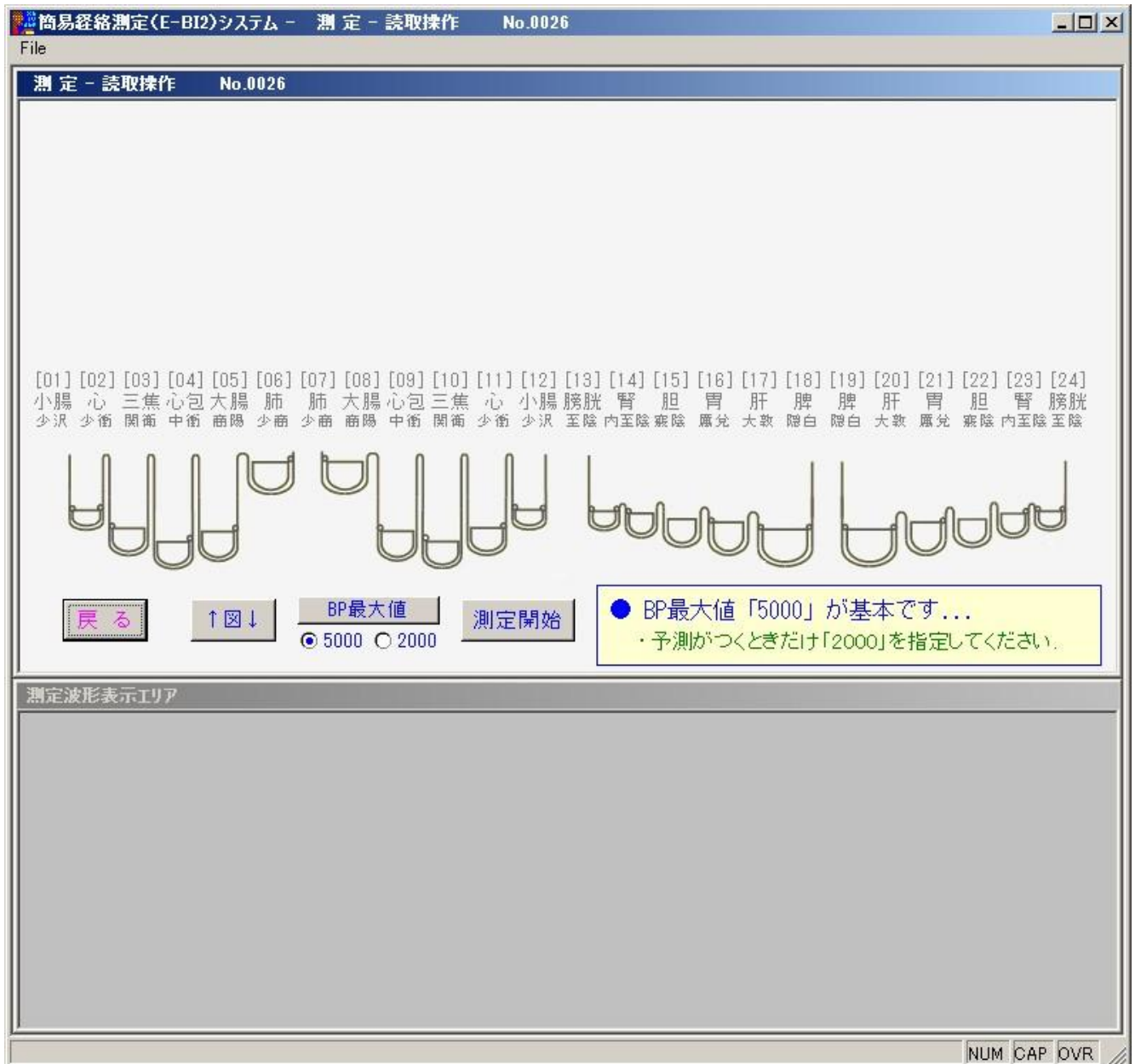


図 21

初期画面では、被検者の手足の指先画像が対面方向で表示されます。

【↑図↓】

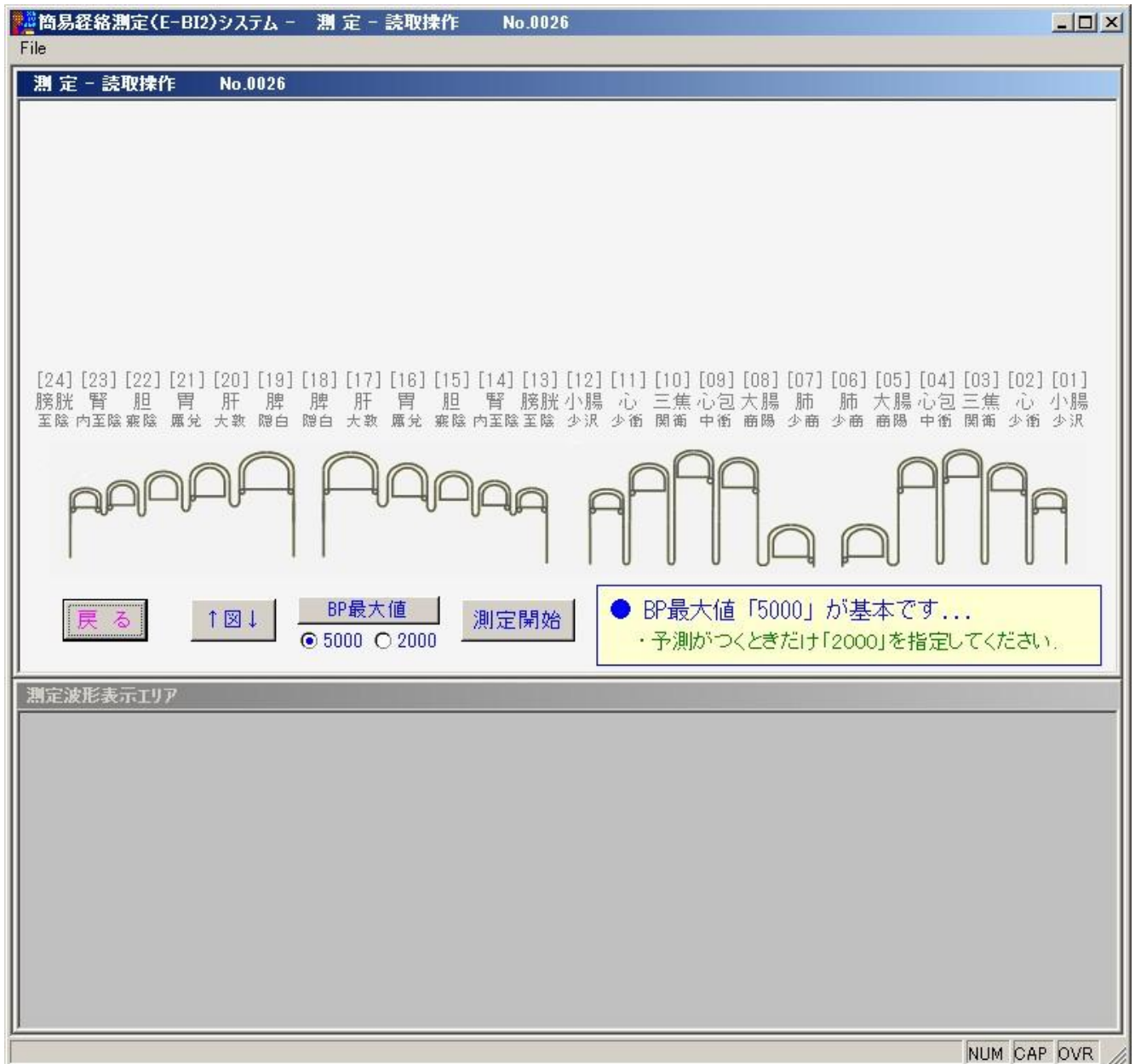


図 22

・「↑図↓」をクリックするごとに、手足画像の方向が反転します。
自分自身を測定する際にご利用ください。

BP最大値



これは、測定可能な BP 最大値の選択です。
通常は「5000」(μA)で測定を開始してください。
もし、その被検者の測定値が井穴とも「2000」(μA)以下と予想される場合は、「2000」を選択してください。

BP 最大値について

- ・本システムでは、アナログ電流値を 8bit (256 階調) でデジタル値に変換します。
最大値「5000」のとき、1 階調 = $5000/256 \approx 20 (\mu A)$ 、最大値「2000」のとき、1 階調 = $2000/256 \approx 7.8 (\mu A)$ になります。したがって、最大値「2000」の方がグラフ化する際に電流変化をキメ細かく表示できることとなります。
- ・最大値「5000」で測定作業を開始した後、井穴数ポイント測定した段階で、例えば、どの測定値も「1300」以下というように小さかった場合は、作業を中断して、最大値「2000」で測定をやり直すことをお勧めします。
- ・また、最大値が予想できない被検者の場合、画面の井穴指示どおり手から順番に測定するのではなく、手足の

数点をランダムに測定してみて、その被検者の最大値を予想してから、「5000」か「2000」かを決めて正式測定を開始するのも賢明な測定方法です。(手<<足、手>>足という人が多いため。)

[測定]

- ・「測定」をクリックすると、PicoScope 信号読取プログラムが起動します。
- しかし、本体装置がパソコンと未接続または電源オフの場合は、次のガイダンス画面が表示されます。

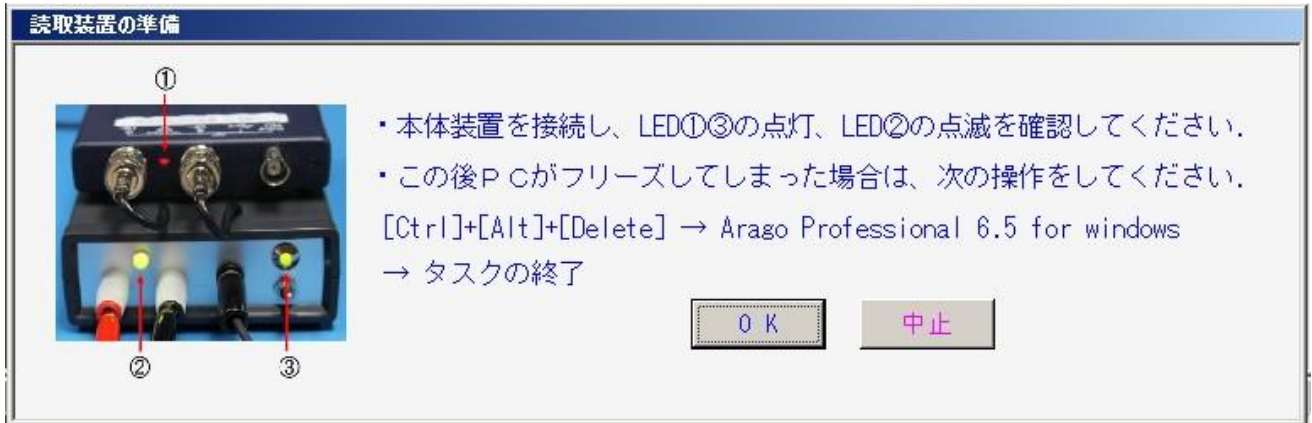


図 23

そして、次の測定開始になります。

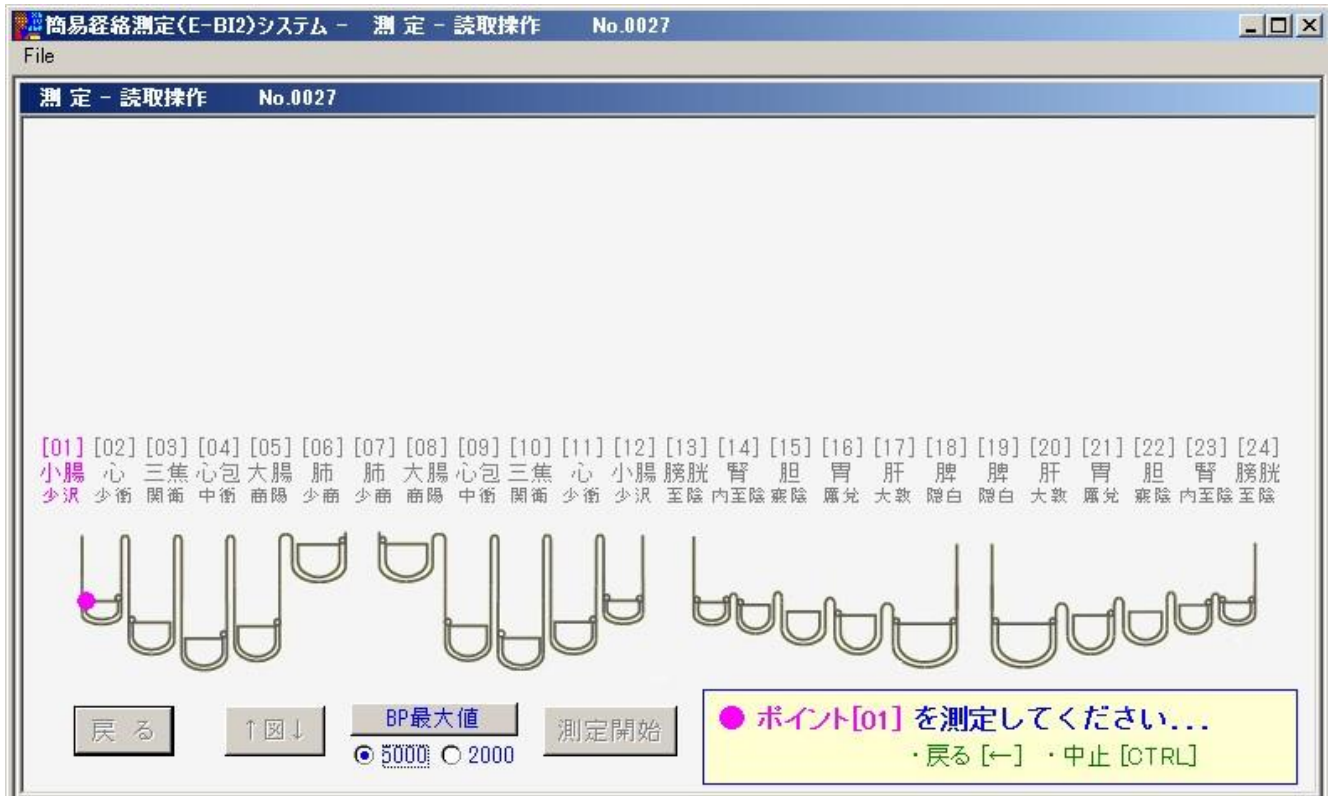


図 24

測定作業は、この画面を確認しながら行います。

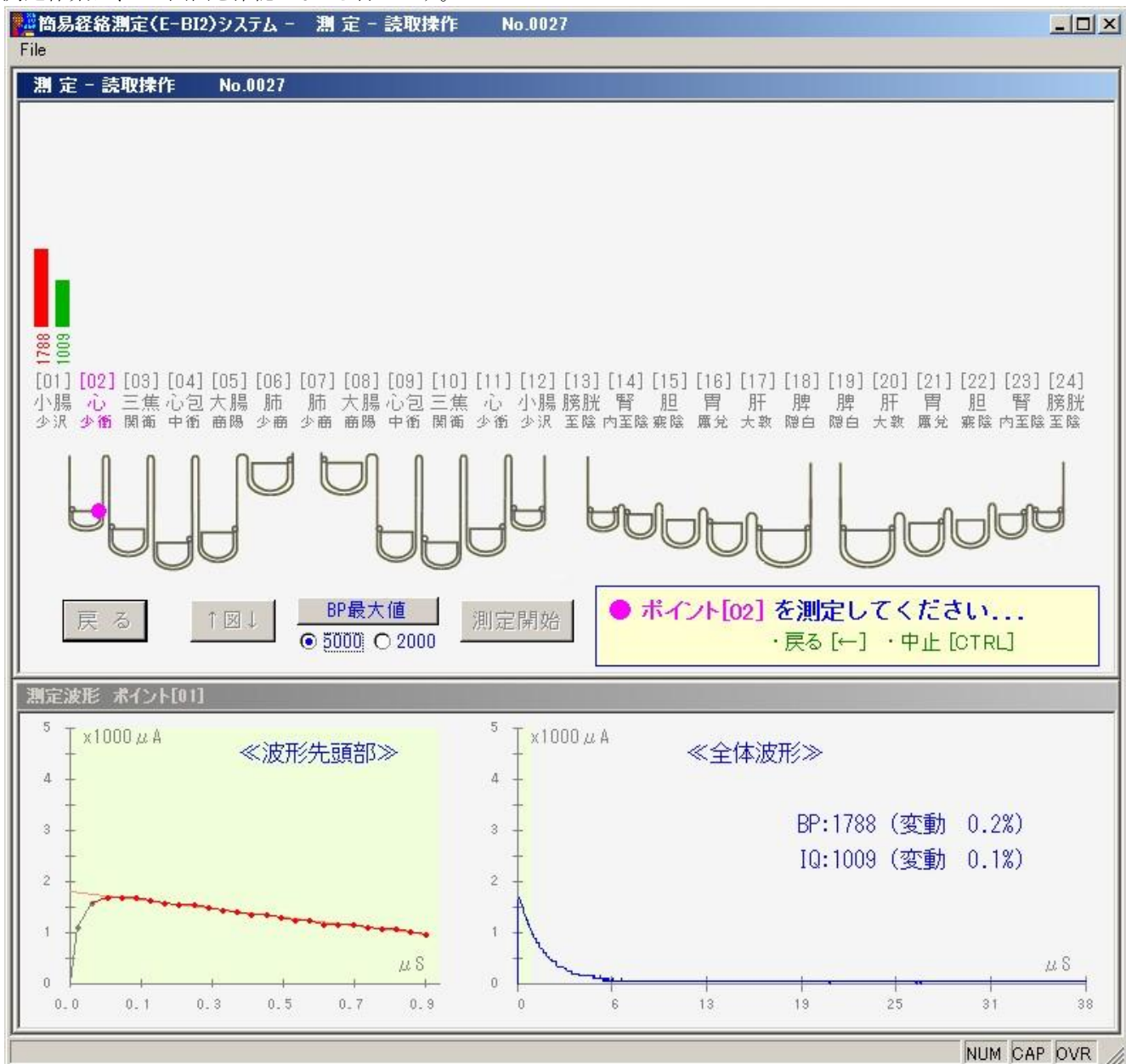


図 25

赤●で示す井穴に電極の先端を当てて、読み取りボタンを押し続けてください。LED②が赤色点滅に変わり約 3.5 秒後に通電電流が読み取られます。そして、棒グラフと測定電流波形が表示されます。

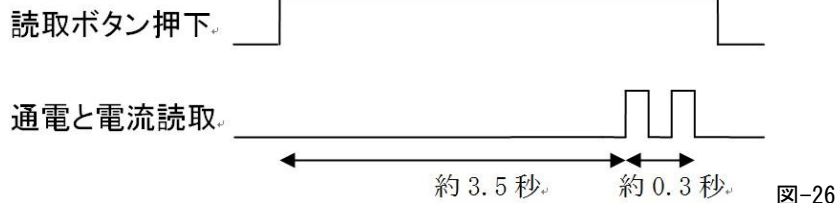
BP 値と IQ 値の右側()内は、後述する 2 回測定の 1 回目と 2 回目の測定値変動率です。

波形表示は…

上図は電流値が一定係数で低下する通常波形ですが、該当経絡に大きな変動があると、変則的に迷走しながら低下することがあります。診断の参考になるので波形表示しています。

2回測定について

関電極の読取ボタンは、約 3.5 秒以上押し続けると、人体皮膚に 3V のパルス電圧が印加され、通電電流が波形が読み取られます。



この波形読取は、約 0.3 秒間隔で繰り返し 2 回実行されます。

そして、得られた 2 つの測定値の変化の仕方と両者の変動の大きさを元に測定値が正しいかどうか判定されます。例えば、機器内にノイズが混入した場合、測定値の波形がランダムになったり、2 つの測定値の変動幅が大きくなるので、異常と判定されます。

また、電極が井穴皮膚面に正しく密着していなかった場合、電流波形が皮膚通電の特徴的な変化をしないので、測定操作ミスと判定されます。

測定値が不正と判定された場合、測定エラーとして次のように再測定することになります。

[測定エラーと再測定]

測定エラーと判定された場合、このような表示で再測定を促します。

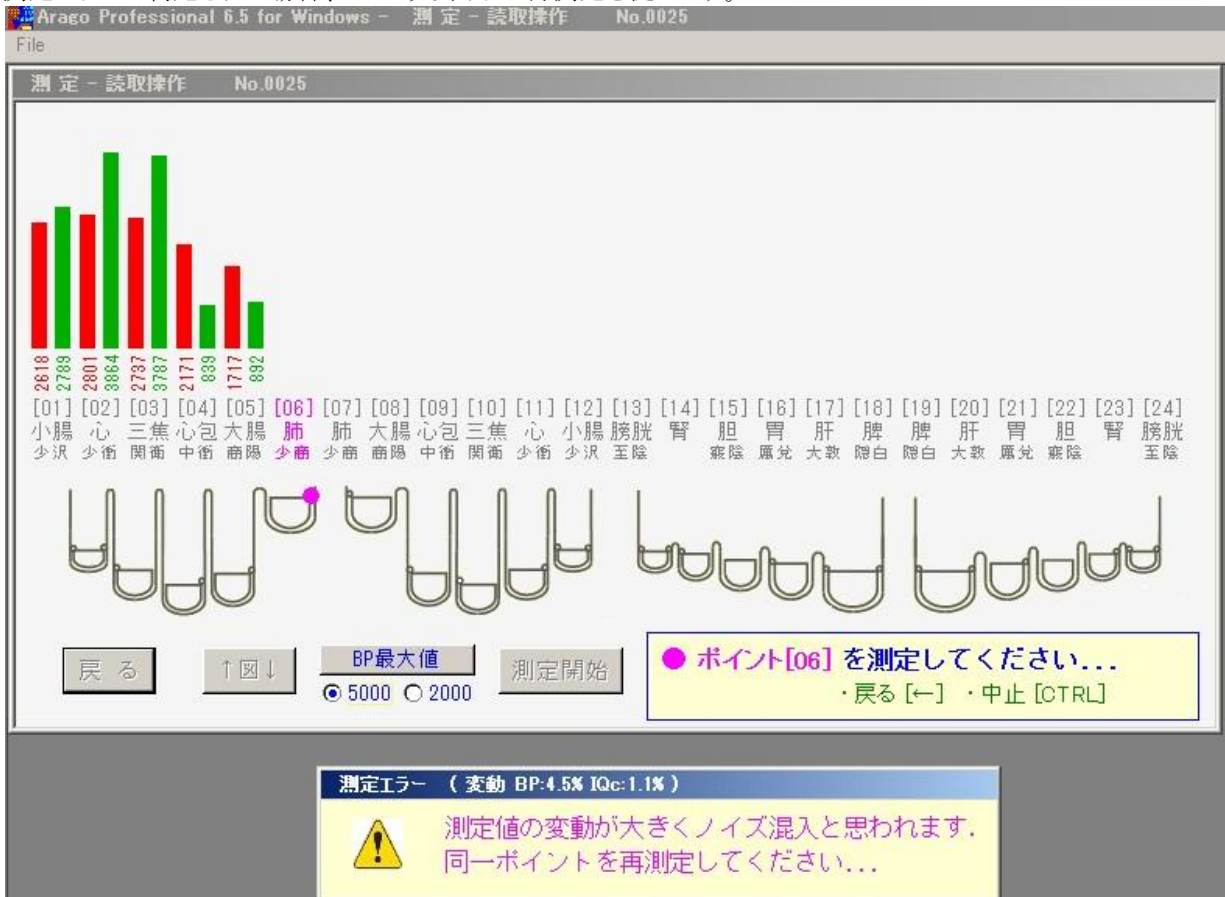


図 27

再測定メッセージには次のようなものがあります。

- ・「測定値の変動が大きくノイズ混入と思われます。」
- ・「data1.txt がありません。」… 以下、ソフト・ハードの何らかのトラブルの際に表示される場合があります。
- ・「通電ピーク値が所定範囲にありません。」
- ・「通電ピーク値が検知できません。」
- ・「DATA.DBF に MARK=*!がありません。」
- ・「MV1_AP レコードが検知できません。」

・中止 [CTRL]

処理を中止したいときは、[CTRL]キーを 2~3 秒押してください。「戻る」ボタンが有効になります。

・戻る [←]

・[←]キーを押すと、直前の井穴測定に戻ります。測定エラーでなくても、再測定できます。
(実際には、「↑図↓」で画像反転している場合を考慮して、[←]でも[→]でも戻るようにしています。)

井穴 24 点全て測定終了すると、この画面になります。

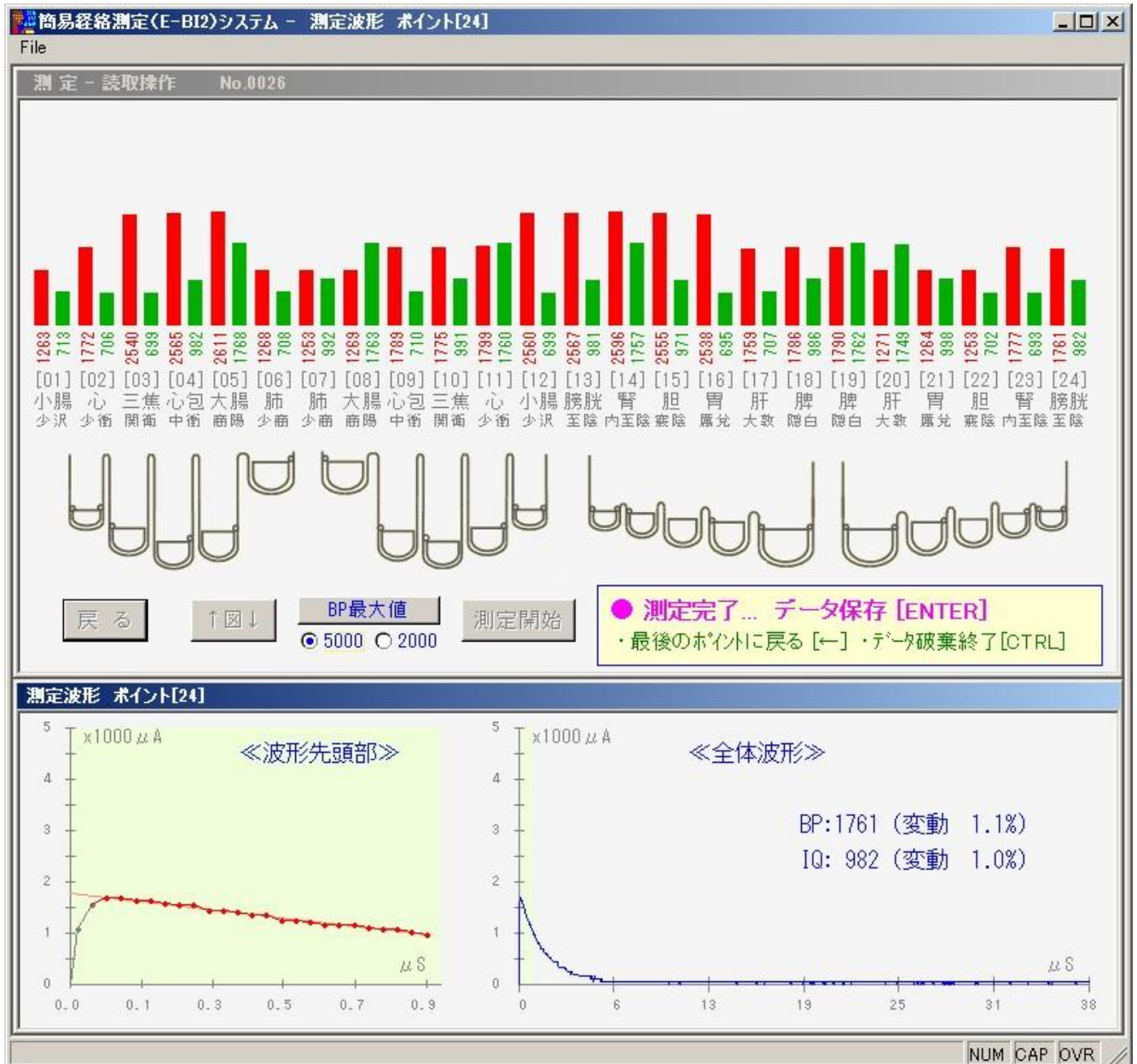


図 28

[ENTER]キーで測定データが登録されます。

● No.0027 測定データを保存しました。
・「戻る」で画面を閉じてください...

※測定画面は[ESC]キーでも閉じますが、必ず[戻る]で閉じてください。

[ESC]キーで閉じた状態で、再度測定画面を開いて「測定開始」すると、パソコンがフリーズしてしまいます。

表示印刷



番号	日付	氏名	備考1
0011	2014.10.17	001 ME	
0012	2014.10.18	003 TK	女・34
0013	2014.10.18	004 T.Y	女・40代
0014	2014.10.18	005 H	男・50代
0015	2014.10.19	006 M.M	女・37
0016	2014.10.19	007 A.I	男・43
0017	2014.10.19	008 M.A	女・40代
0018	2014.10.19	009 I.T	男・40代
0019	2014.10.19	010 K.Y	女・48
0020	2014.10.19	011 N.N	女・40代

チャート データ一覧 表示 印刷

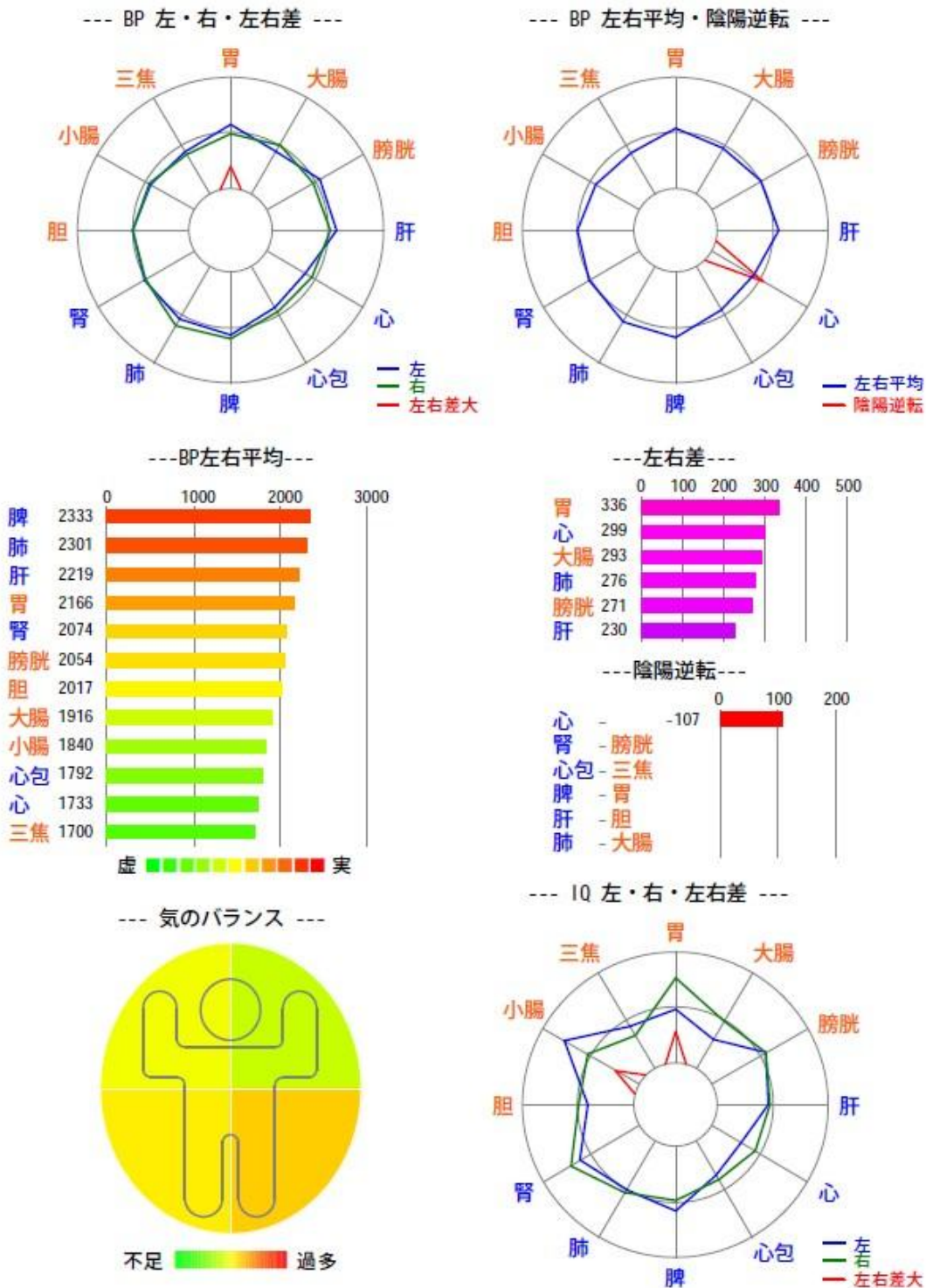
経絡の変調と症状 鍼灸取穴参考図 戻る

図 29

・被検者データと、出力する図表の種類を選択してください。

NO.0013 2014.10.18 004 T.Y 様

女・40代



※当ページグラフ類の表記法は「東洋医学 気の流れの測定・診断と治療」(本山博著 宗教心理出版)の事例を参考にしています。

図 30

棒グラフ目盛の最大値、異常表示「>」の表記条件等は、「表示設定」画面(P.21/32)で設定します。

【データ一覧】

		左	右	差	平均	左%	右%	平均%	差%
① 肺	BP	2163	2439	276	2301	1.075	△1.212	1.143	1.493
	IQ	1497	1578	81	1538	1.005	1.060	1.032	0.250
② 大腸	BP	1769	2062	293	1916	0.879	1.024	0.952	1.585
	IQ	895	1446	551	1171	0.601	0.971	0.786	1.706
③ 心包	BP	1697	1887	190	1792	0.843	0.938	0.890	1.028
	IQ	1071	1185	114	1128	0.719	0.796	0.757	0.353
④ 三焦	BP	1748	1651	97	1700	0.868	0.820	0.844	0.524
	IQ	1307	1031	276	1169	0.877	0.692	0.785	0.854
⑤ 心	BP	1583	1882	299	1733	0.786	0.935	0.861	1.617
	IQ	881	1346	465	1114	0.591	0.904	0.748	1.440
⑥ 小腸	BP	1815	1864	49	1840	0.902	0.926	0.914	0.265
	IQ	2299	1590	709	1945	1.544	1.068	1.306	2.195
⑦ 脾	BP	2279	2386	107	2333	1.132	1.186	1.159	0.578
	IQ	1703	1442	261	1573	1.143	0.968	1.056	0.808
⑧ 肝	BP	2334	2104	230	2219	1.160	1.045	1.102	1.244
	IQ	1373	1411	38	1392	0.922	0.947	0.934	0.117
⑨ 胃	BP	2334	1998	336	2166	1.160	0.993	1.076	◇1.817
	IQ	1449	2260	811	1855	0.973	1.518	1.245	2.511
⑩ 胆	BP	2022	2012	10	2017	1.005	1.000	1.002	0.054
	IQ	1228	1478	250	1353	0.824	0.992	0.908	0.774
⑪ 腎	BP	2104	2044	60	2074	1.045	1.016	1.030	0.324
	IQ	1819	2127	308	1973	1.221	1.428	1.325	0.953
⑫ 膀胱	BP	2189	1918	271	2054	1.088	0.953	1.020	1.466
	IQ	1662	1651	11	1657	1.116	1.109	1.112	0.034

【BP陰陽差】

肺 - 大腸	385
心包 - 三焦	92
心 - 小腸	□ -107
脾 - 胃	167
肝 - 胆	202
腎 - 膀胱	20

【平均】

BP	2011
IQ	1488

【手/足】

BP	0.877
IQ	0.823

【診断】

△	BP高(実)
▽	BP低(虚)
◇	左右差大(不安定)
□	陰陽値逆転(変調)
↑	興奮(変調初期)
↓	沈静(慢性化)

【標準偏差】

BP	0.116
IQ	0.246

【左/右】

BP	0.991
IQ	0.927

【ポイント解説】

	BP	IQ
経絡別	虚実の指標	—
左右差	該当経絡の変調。多くは一時的なもの。	—
陰陽差 逆転「□」	該当経絡の変調。恒常的で多くの場合、発症を自覚している。	—
平均	気(生命エネルギー)の充実度。 若年>老年・虚弱者。健康者>病人。	免疫・生体恒常性維持機能の活性度。 発症初期・炎症中・アレルギー体質者>慢性化・機能低下。
標準偏差	発症初期など免疫反応が活発なとき大きくなる。 測定操作が乱雑なときにもバラツキのため大きくなる。	同左。 BPの場合よりも長期間かけて変化する。
手/足	1が理想値。	1が理想値。
左/右	1が理想値。	1が理想値。

※上記「診断」は「経絡-臓器機能測定について」(本山博著 宗教心理出版)の「各経絡-臓器の機能興奮、低下、不安定を決める基準」に準拠しています。「ポイント解説」は、同氏の多数の著書の中の説明文を引用したものです。語句変更したところもあります。

【経絡の変調と症状の研究】

「経絡の変調と症状」の分析表作成

0013 2014.10.18 004 T.Y 様

次の経絡変調に対する分析表を作成します。

陰陽逆転 「実」 「虚」 不安定(左右大)

表示 印刷 戻る

図 32

0013 2014.10.18 004 T.Y 様 【経絡の変調と起こりやすい症状】

虚 ★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 実 ◇ 不安定 □ 陰陽逆転 「★◇」は診断基準による判定結果です。

肺	大	胃	脾	心	小	膀	腎	包	三	胆	肝	変調のある経絡	起こりやすい症状等	
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	⇒	右手痛(肺経沿)	
												⇒⇒	喉がつまりやすい	
												⇒	息が苦しい	
												⇒⇒⇒	鼻づまり	喉が痛む
												⇒⇒⇒	鼻血が出る	
												⇒⇒	気管支が悪い	両足がもつれる(肺、大腸経沿いに)
			⇒⇒									⇒⇒⇒⇒	高血圧	
			⇒		⇒⇒⇒							⇒	軽い腰痛	
			⇒		⇒							⇒	右足痛	子宮筋腫の手術
			⇒		⇒							⇒	腹痛	
		⇒⇒	⇒									⇒	胃腸が弱い	
		⇒	⇒									⇒	便秘	
		⇒	⇒⇒⇒									⇒	ギックリ腰	腰から背骨が曲がっている感じがする
	⇒	⇒	⇒	⇒								⇒	太ももから膝が痛む	
	⇒⇒	⇒										⇒⇒	胃炎	
	⇒											⇒	胃機能不安定	
			⇒⇒⇒	⇒								⇒	泌尿生殖器不全	
	⇒⇒											⇒⇒	胃潰瘍	
	⇒⇒											⇒⇒	吐き気	胃弱
	⇒											⇒⇒⇒	糖尿病	
		⇒										⇒	不整脈、動悸がする	首から心臓が苦しい
			⇒⇒⇒	⇒								⇒	膀胱機能弱	遺尿
	⇒		⇒⇒⇒									⇒	足腰が重い	
			⇒⇒⇒	⇒								⇒	腎臓が悪い	
												⇒⇒	疲れている。	体力がなく、エネルギー不足の感じ。
												⇒⇒	神経痛	リウマチ
												⇒⇒⇒	湿疹	
												⇒⇒⇒	視力が悪い	

※本表の経絡と症状の情報は、表記見本として「経絡-臓器機能測定について」等(本山博 著 宗教心理出版)の記事を引用しています。この情報は、ユーザ自身が「経絡と症状の編集」画面で変更追加削除できます。印刷配布する場合はご自分の流儀で書き換えてください。

図 33

【鍼灸取穴参考図】

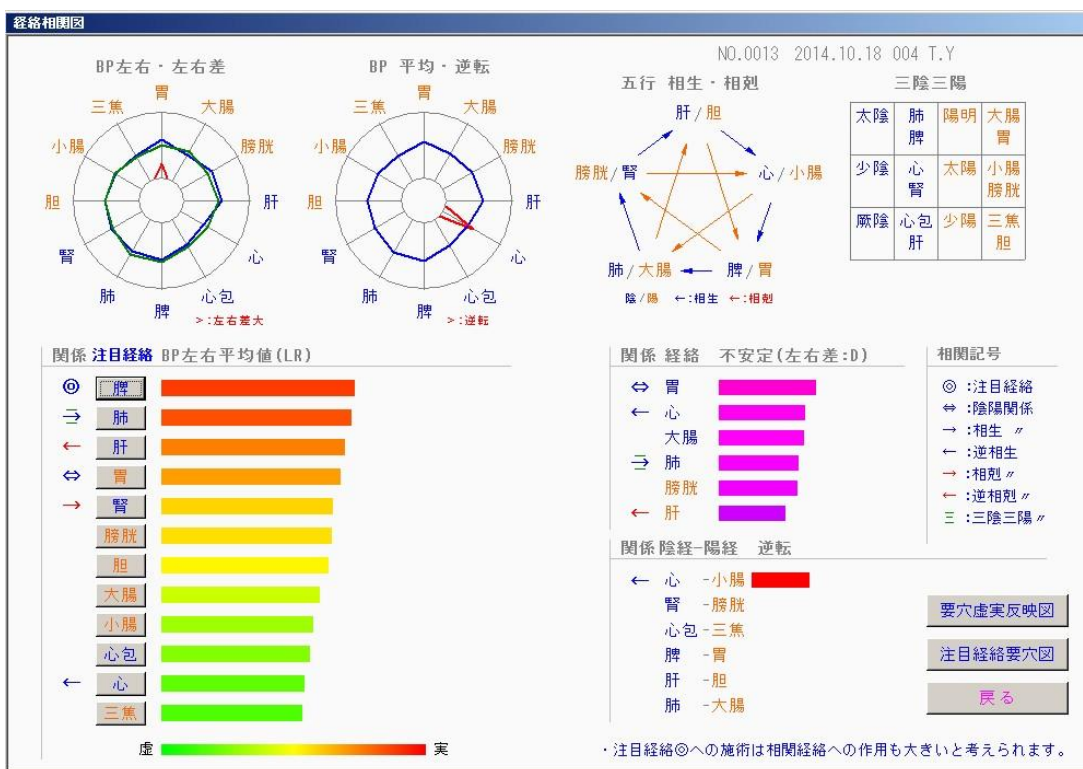


図 34

この画面は、脾経に注目(選択)した場合の一例で、他の経絡との相互関係を示しています。例えば、脾経への刺激は、相生関係で肺経をより実にし、逆転経絡の心経を刺激すると、今度は脾経がさらに実になる可能性があるということが分かります。

【主要穴虚実反映図】

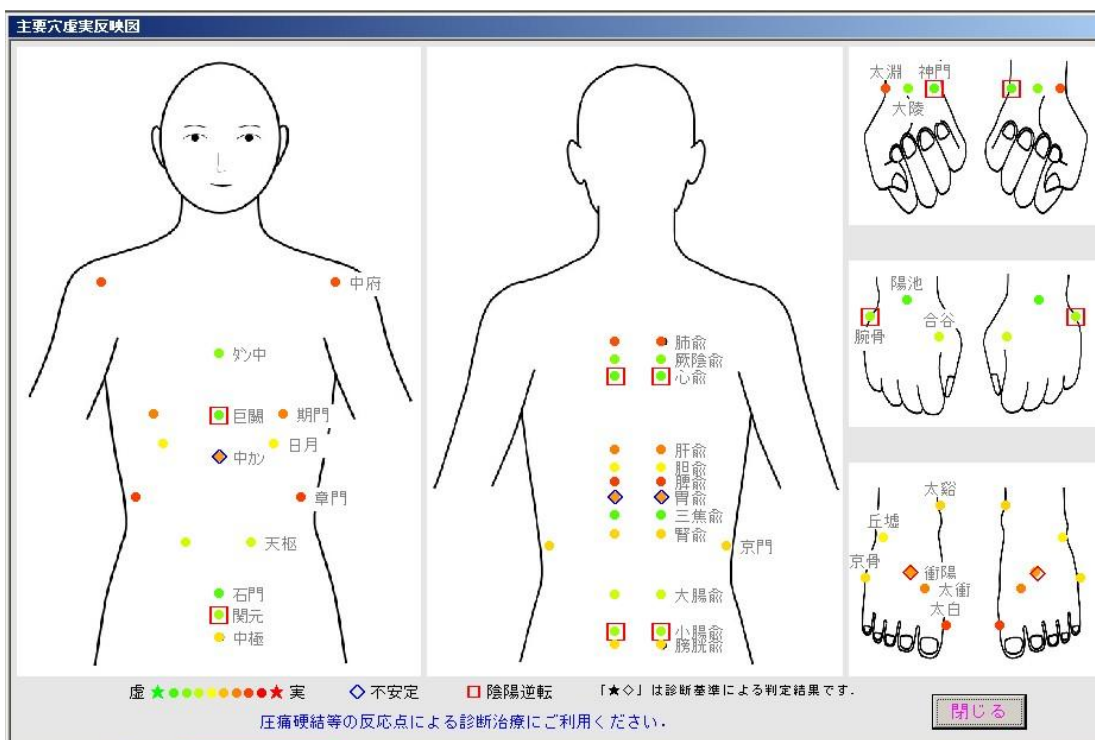


図 35

各種記号★●◇□の経穴と皮膚上の反応点等とを照合することも、診断に役立ちます。

【要穴位置図】

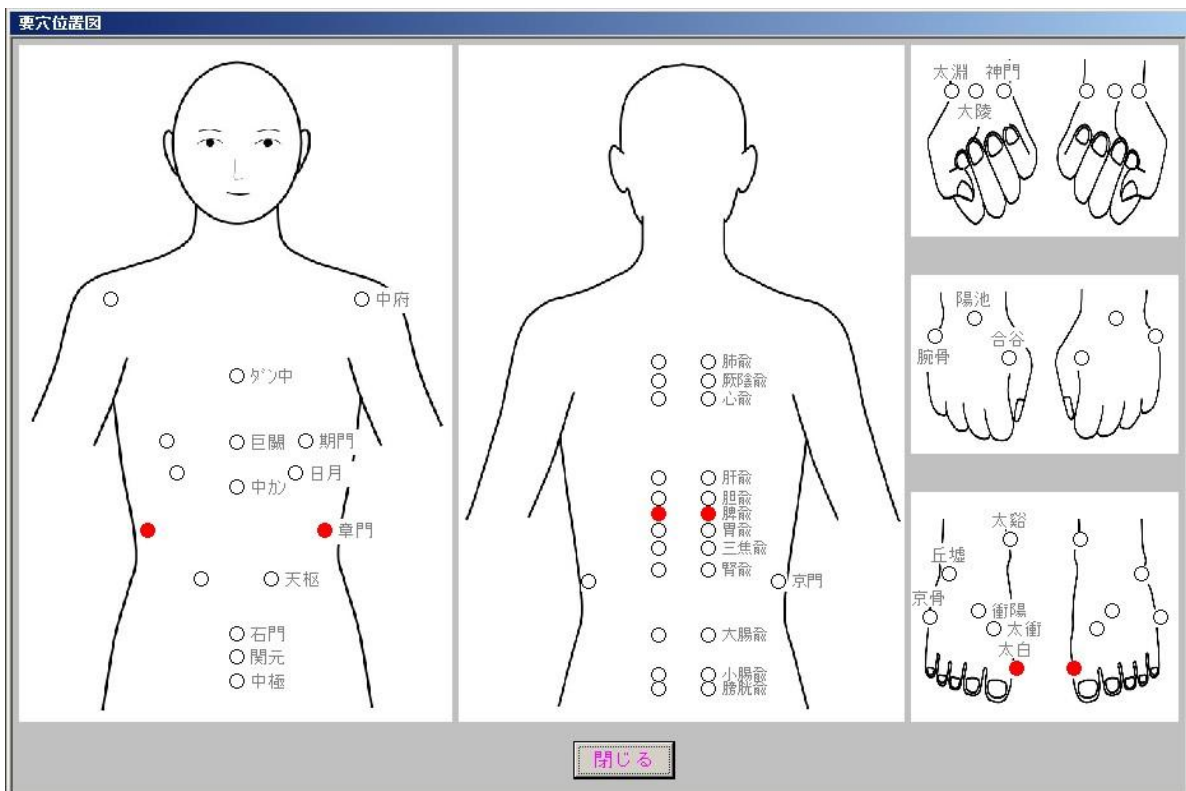


図 36

取穴の参考にしてください。

履歴

個人履歴表示印刷			
番号	日付	氏名	備考1
0026	2015.03.28	013 FJ	
0027	2015.06.24	001 ME	
0029	2015.06.24	001 ME	
0030	2015.06.25	001 ME	
0031	2015.06.26	001 ME	
0039	2015.09.08	001 ME	
0050	2014.03.23	014 SK	AM ワーク前
0051	2014.03.23	014 SK	PM ワーク後
0052	2015.11.12	015 山田太郎	初回
0053	2011.12.08	001 ME	井の頭

選択した1人の測定履歴をピックアップします。

次へ 戻る

図 37

被検者名がコード番号順に表示されます。
コード番号がない場合、先頭3文字の文字コード順に表示されます。

【次へ】

個人履歴表示印刷			
測定結果履歴チャート 014 SK 様			
番号	日付	氏名	備考1
0050	2014.03.23	014 SK	AM ワーク前
0051	2014.03.23	014 SK	PM ワーク後
	.	.	
	.	.	
	.	.	
	.	.	
	.	.	
	.	.	
	.	.	
	.	.	

前々回 前回 最新 印刷 終了

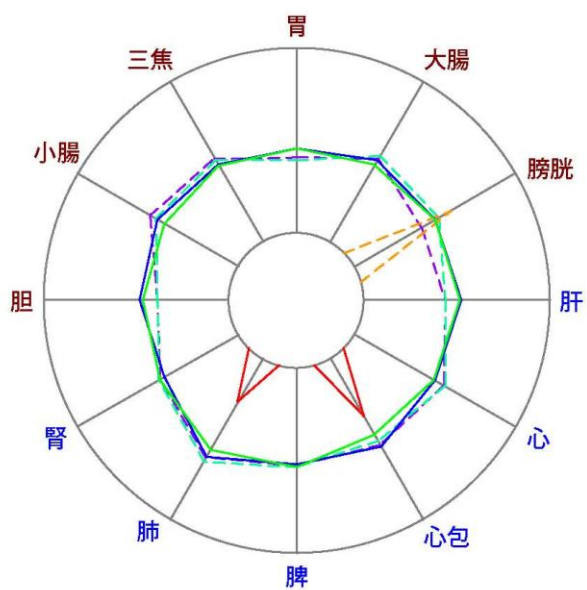
図 38

この画面例の場合、「0050」 → 「前回」 → 「0051」 → 「最新」とクリック操作すると、
↓

2015.11.20 014 SK 様

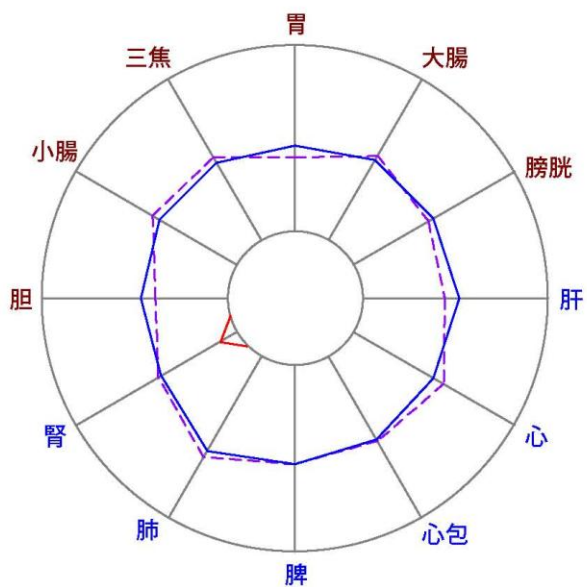
--- BP 左・右・左右差 ---

左	右	左右差大
--- (purple dashed)	--- (green dashed)	--- (orange dashed)
2014.03.23	AM ワーク前	
--- (blue solid)	--- (green solid)	--- (red solid)
2014.03.23	PM ワーク後	



--- BP 平均・逆転 ---

左右平均	陰陽逆転
--- (purple dashed)	--- (orange dashed)
2014.03.23	AM ワーク前
--- (blue solid)	--- (red solid)
2014.03.23	PM ワーク後



2014.03.23 AM ワーク前
2014.03.23 PM ワーク後

図 39

メニューバーの処理



図 40

設定

表示設定

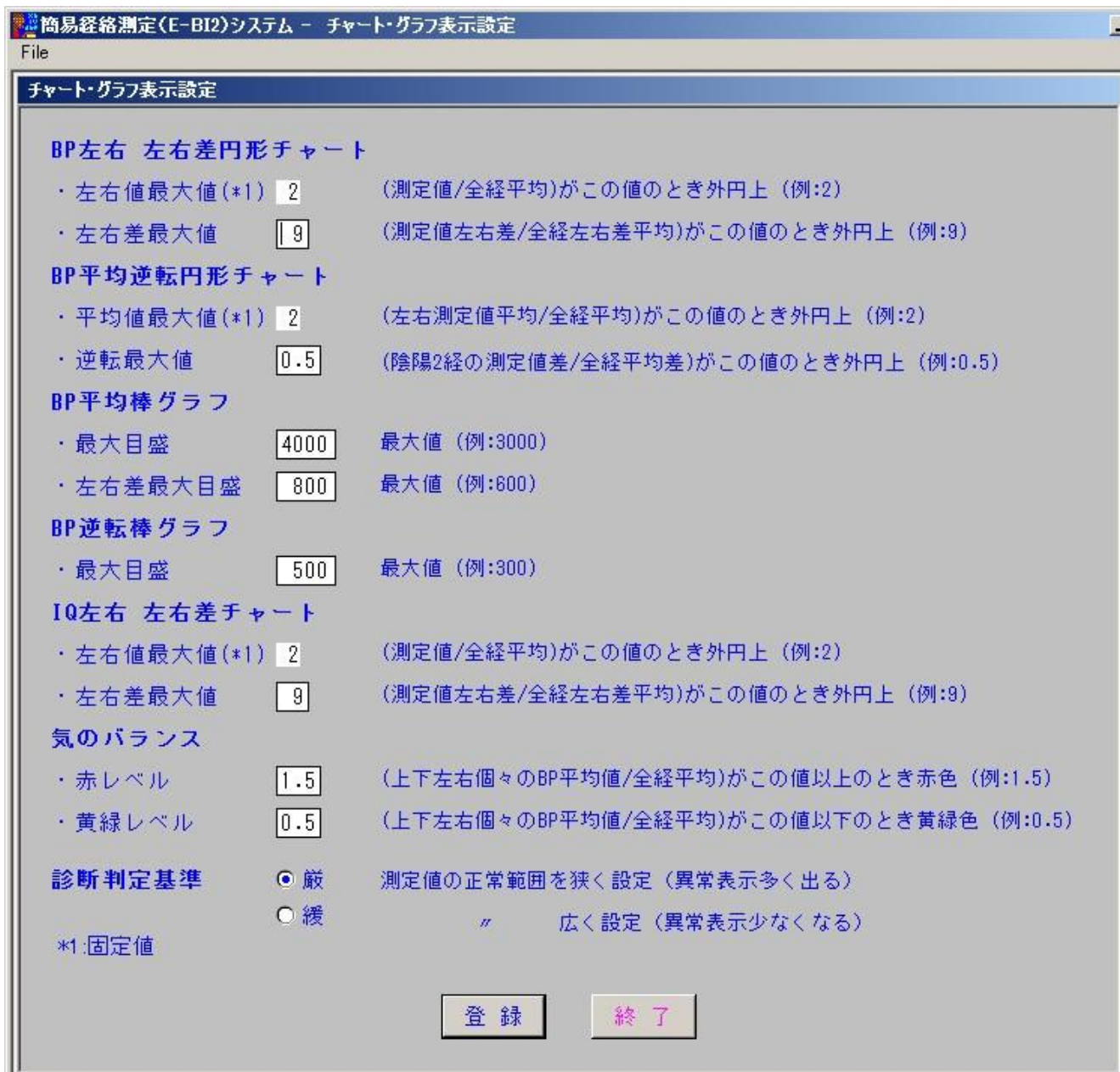


図 41

チャート・グラフ類の表示条件、異常判定の診断基準の設定画面です。
診断判定基準は、表示・印刷チャート類 P.14～P.18/32 の「>」「★」「★」「◇」「△」「▽」等の表記条件に影響します。

補助

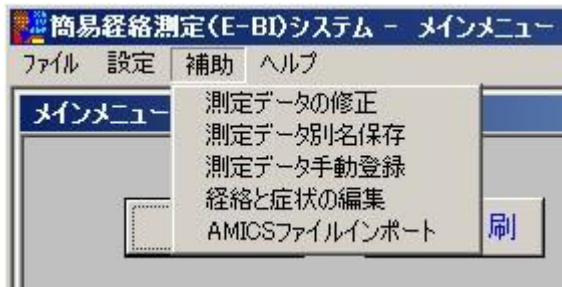


図 42

測定データの修正

測定データ AMIDATA.DBF の訂正 (氏名・備考のみ訂正可)							
番号	日付	時刻	氏名	備考1	備考2	備考3	BP2UA
0001	2014.02.25	11:51	002 TK			高山	2.898
0002	2014.04.13	08:06	001 ME				2.939
0003	2014.04.13	08:16	001 ME				2.934
0004	2014.04.13	15:42	001 ME	サイクリング, 飲食後	pm 15:40		2.925
0005	2014.04.15	08:17	001 ME				2.953
0006	2014.04.16	07:22	001 ME		二日酔い		3.029
0007	2014.04.16	07:27	001 ME		2回目		2.986
0008	2014.05.06	08:18	001 ME				2.934
0009	2014.07.30	07:18	001 ME				3.956
0010	2014.08.08	07:01	001 ME	FT02-1			3.964
0011	2014.10.17	15:07	001 ME				3.453
0012	2014.10.18	11:36	003 TK	女・34			3.492
0013	2014.10.18	11:53	004 T.Y	女・40代			3.492
0014	2014.10.18	12:20	005 H	男・50代			3.498
0015	2014.10.19	11:48	006 M.M	女・37			3.492

※項目訂正の後[↑]または[↓]すると登録されます。

1件消去 終了 [↑] [↓] [TAB] [SHIFT]+[TAB]

図 43

数値は変更できません。

測定データの別名保存

測定データ AMIDATA.DBF の別名保存 (氏名・備考を変更して保存できます)							
番号	日付	時刻	氏名	備考1	備考2	備考3	BP2UA
0001	2014.02.25	11:51	002 TK			高山	2.898
0002	2014.04.13	08:06	001 ME				2.939
0003	2014.04.13	08:16	001 ME				2.934
0004	2014.04.13	15:42	001 ME	サイクリング, 飲食後	pm 15:40		2.925
0005	2014.04.15	08:17	001 ME				2.953
0006	2014.04.16	07:22	001 ME		二日酔い		3.029
0007	2014.04.16	07:27	001 ME		2回目		2.986
0008	2014.05.06	08:18	001 ME				2.934
0009	2014.07.30	07:18	001 ME				3.956
0010	2014.08.08	07:01	001 ME	FT02-1			3.964
0011	2014.10.17	15:07	001 ME				3.453
0012	2014.10.18	11:36	003 TK	女・34			3.492
0013	2014.10.18	11:53	004 T.Y	女・40代			3.492
0014	2014.10.18	12:20	005 H	男・50代			3.498
0015	2014.10.19	11:48	006 M.M	女・37			3.492

※項目訂正の後[↑]または[↓]すると登録されます。

ファイル名 AMI151120.DBF 保存ファイル取出 終了 [↑] [↓] [TAB] [SHIFT]+[TAB]

図 44

「保存ファイル取出」を実行すると、現在の登録データが、¥E-BI5¥AMIymmdd.DBF(yymmdd は年月日)として出力されます。

大切なデータファイルなので、USB メモリ等に転送してバックアップしておくといでしょう。

また、「保存ファイル取出」実行前に、この画面上で登録内容を訂正変更できます。

測定レポートとして提出する際に、氏名等を匿名に変更してください。

DBFファイルなので、MS-EXCEL 等で表示できます。

測定データの手動登録



	BP-左	BP-右	IQ-左	IQ-右
肺経	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大腸	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心包	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
三焦	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心経	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
小腸	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
脾経	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
肝経	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
胃経	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
胆経	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
腎経	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
膀胱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※「隔俞」と「八俞」は登録不要です。

登録 終了

文献等で公開された測定データをこの画面で登録し、本システムでチャート類を印刷表示できます。

図 45

経絡と症状の編集

経絡と症状.DBFの編集

「経絡の変調と症状」表示制御用データ [↑] [↓] [TAB] [SHIFT]+[TAB]

肺	大腸	胃	脾	心	小腸	膀胱	腎	心包	三焦	胆	肝	症状1	症状2	SORT
												右手痛(肺経治)		1
+	+							+				喉がつまりやすい		2
+												息が苦しい		3
+	+	+										鼻づまり	喉が痛む	4
+	+	+							+			鼻血が出る		5
+	+											気管支が悪い	両足がもつれる(肺、大腸経治いに)	6
			+	+			+	+	+		+	高血圧		7
					+	+	+					軽い腰痛		10
					+							右足痛	子宮筋腫の手術	11
					+							腹痛		12
		+	+								+	胃腸が弱い		13
					+							便秘		14
					+	+	+					ギックリ腰	腰から背骨が曲がっている感じがする	15
			+		+		+				+	太ももから膝が痛む		16
		+	+		+						+	胃炎		21

初期値は「経絡-臓器機能測定について」ほか(本山博 著 宗教心理出版)からの引用編集データです。
「経絡の変調と症状」実行時、「+」位置に「⇒」が入り、1行ずつ「SORT」数字が小さい順にリストアップされます。
利用環境に合わせてデータを追加・削除してください。
行内文字を追加訂正した場合[↑]または[↓]するとファイルが更新されます(表示されただけでは更新されません)。

1行追加 1行消去 終了

図 46

初期値は見本データなので、ユーザがご自分の流儀で書き換えてください。
この内容のまま印刷チャートを他人に配布しないようにしてください。

ヘルプ

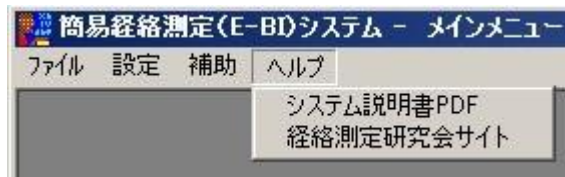


図 47

システム説明書

システム説明書.PDF を表示します。

経絡測定研究会サイト

http://nico2.info/ami_project/index.html にアクセスします。

測定準備

電源

本システムは、AC100V コンセントから電源を取ります。
同室内で暖房用ヒータや他の電気器具を使用する場合、それらの機器の電源は、別のコンセントから取り、極力遠ざけてください。

簡易経路測定装置(E-BI5)システム

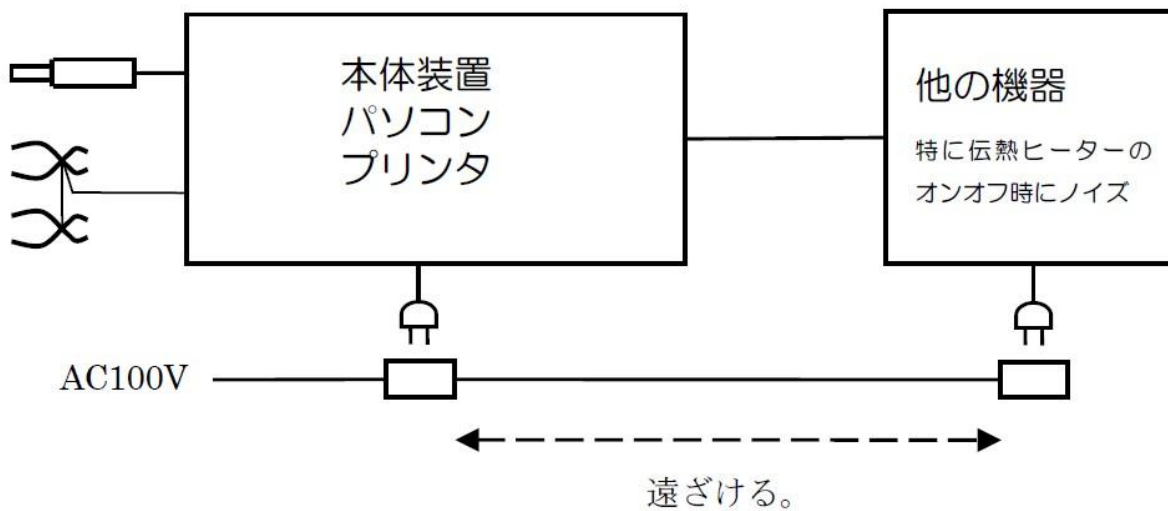


図 48

椅子とテーブル

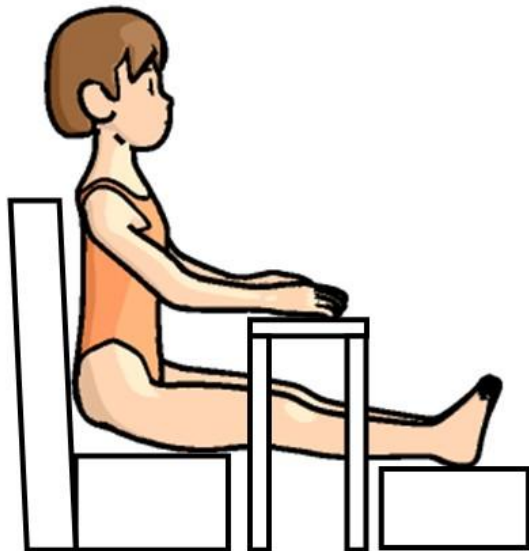


図 49

被検者にはこんな姿勢で座ってもらうのがよいでしょう。

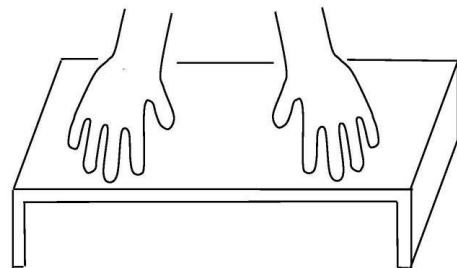


図 50

テーブルの上で手を開いてもらいます。

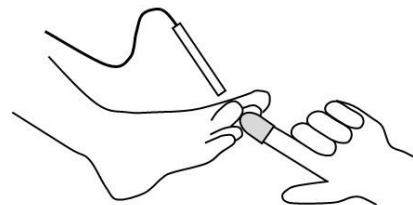


図 51

被検者の指が隣の指と密着していたら、両者を離して関電極を測定ポイントに当てます。
このとき、検者の指が電流の導体にならないよう指サックを付けることを推奨します。

機器接続

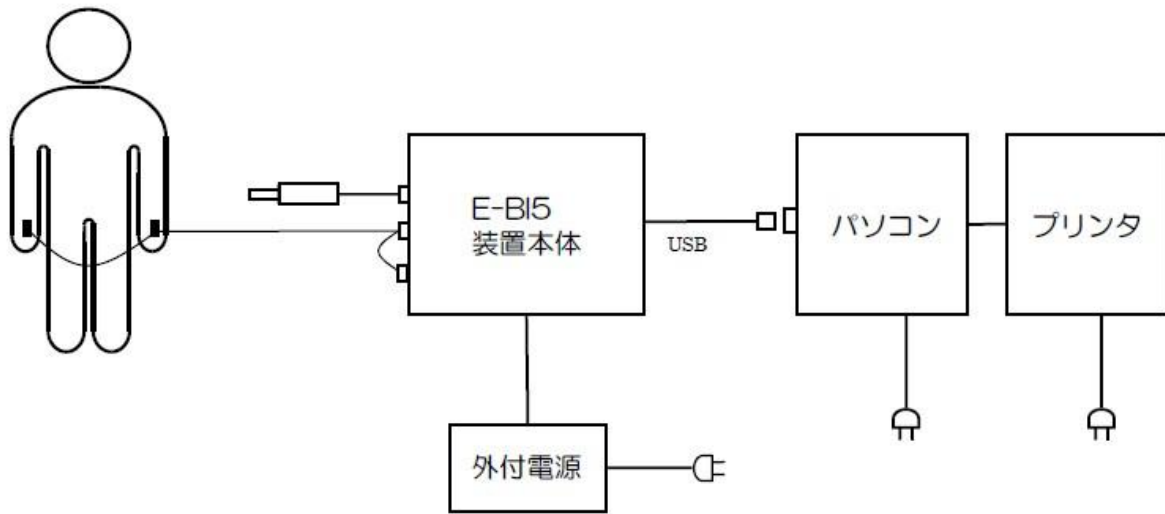


図 52



図-53

次の表示はそのまま閉じて構いません。

パソコンに装置を接続したとき、このように表示されることがありますが、そのまま閉じてください。

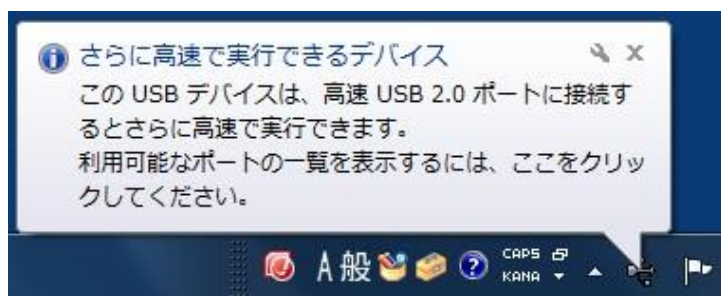
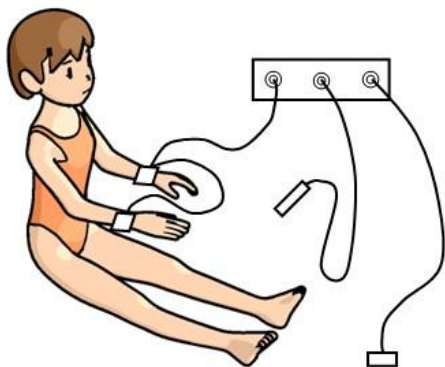


図 54

被検者との接続方法

通常、不関電極は両手または両足のどちらが一方に固定します。ひとりの被検者の測定中に変更してはいけません。

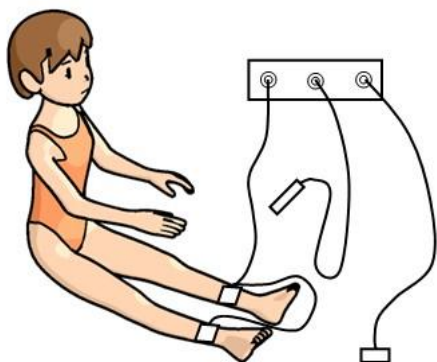
不関電極を両手に固定する場合



不関電極は、足首の平らな皮膚面(例えば「三陰交」あたり)に固定します。不関電極の場合は、電極の金属面にゲル剤を少量塗布してから皮膚に固定します。

図-55

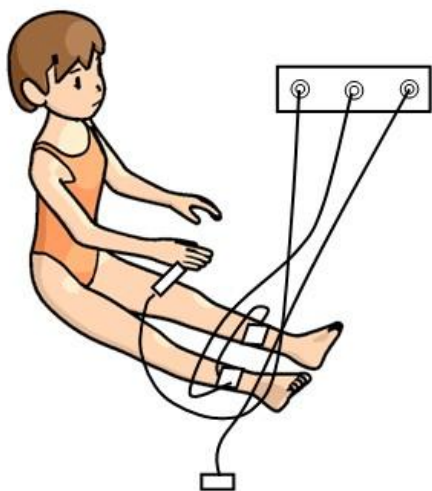
不関電極を両足に固定する場合



不関電極は、足首の平らな皮膚面(例えば「三陰交」あたり)に固定します。不関電極の場合は、電極の金属面にゲル剤を少量塗布してから皮膚に固定します。

図-56

配線上の注意点



電極やスイッチのコード同士を絡ませたり、人体上でコードを引きまわしたりしないでください。

(コード間または人体間の静電容量により BP 値が変化してしまいます。)

気になる場合は、実測前に測定実験で確認すればよいでしょう。

図-57

不関電極の装着



図 58



図 59



図 60

不関電極は、手首用または足首用の一方を使用します。

不関電極の金属面に、電極塗布用ゲル剤を薄く塗ってから、手首または足首に装着してください。

関電極のセット



図-61

関電極本体

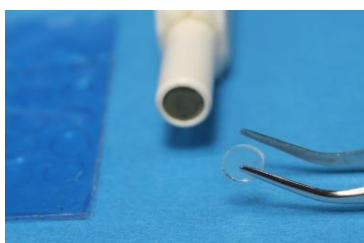


図-62

ゲルシート貼付前

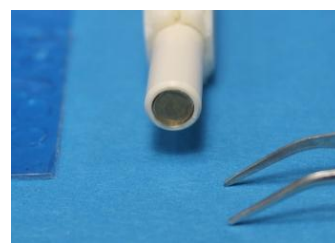


図-63

ゲルシート貼付後

電極端面(金メッキ)は布やティッシュペーパーで綺麗に拭いておいてください。

そして、ゲルシートの円形片を1枚剥がして、その電極端面に貼り付けます。

この貼り付け作業の際に、電極端面に指が触れると油分や汚れが付着してゲルシートが剥がれやすくなるので注意してください。

張り付けた後、ゲルシートの外面を手の皮膚面に押しつけてみて、剥がれないことを確認してください。

ゲルシートは、最初透明で柔らかく粘着性がありますが、時間経過するとくすんで硬くなってきます。

透明でも早めに交換してください。

測定練習に使うなら、少々時間経過したのもでも、ゲルシートの皮膚側の面に少量のゲル剤を塗れば、しばらく使用できます。

電極の取扱方法・測定作業の手順等の動画を YouTube にアップしています。

http://nico2.info/ami_project/page01/index.html

「動画解説」に動画メニューがあります。

(動画中のキャプションは「A-BI」「E-BI」になっています。)

測定

機器の接続を確認して、USB 絶縁アダプターの電源スイッチをオンしてください。
読取装置の LED が緑(または青)色に点滅し始めます。

測定の際は目的の井穴ポイントに閥電極を当て読取ボタンを 4 秒程度押してください。
約 3.5 秒後、装置が読取動作を 2 回実行します。

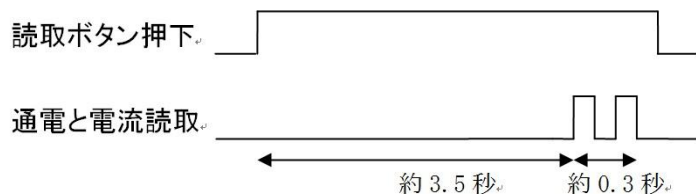


図 64

プログラムの実行

インストールした E-BI5 経絡測定システム (E-BI5.EXE) を起動してください。



図 65

「E-BI5 経絡測定システム プログラム解説」(p.8～)を参照して、測定作業してください。

測定練習

測定操作に慣れるまで、ぜひ測定練習してください。

測定画面(p.))には、閥電極を当てるべき井穴が指示されますが、練習の際は、指示は無視してかまいません。

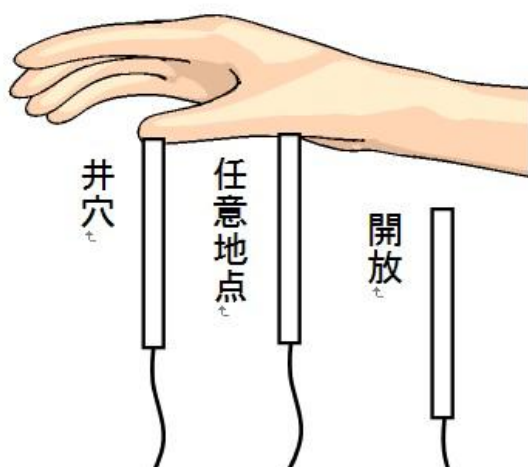
ご自分の手足の測定ポイント(井穴)や他の任意位置に閥電極を当て、読取ボタンを 4 秒以上押し続けます。
すると、本体装置の②LED が赤色で点滅し始めて通電電流が読み取られます。そして画面に測定値が表示されます。

このとき、閥電極を一定の圧力でブレることなく皮膚面に押し当てることが重要です。

24 回(手の 12 井穴、足の 12 井穴)読取操作すると、読み取り画面が終わってしまうので、途中でバック([←]または[→]キー)操作してください。
また、いつでも、[CTRL]キーで作業を中止できます。

図-66

測定操作に慣れるまで、ぜひ測定練習してください。



測定画面(p.)には、関電極を当てるべき井穴が指示されますが、練習の際は、指示は無視してかまいません。

ご自分の手足の測定ポイント(井穴)や他の任意位置に関電極を当て、読取ボタンを4秒以上押し続けます。すると、本体装置の②LEDが赤色で点滅し始めて通電電流が読み取られます。そして画面に測定値が表示されます。

このとき、関電極を一定の圧力でブレることなく皮膚面に押し当てることが重要です。

図-66

24回(手の12井穴、足の12井穴)読取操作すると、読み取り画面が終わってしまうので、途中でバック([←]または[→]キー)操作してください。

また、いつでも、[CTRL]キーで作業を中止できます。

ご注意

「測定開始」と「戻る」操作について —パソコンのフリーズを避けるために—

測定作業を開始する際、パソコン—USB絶縁アダプター読取装置が正しく接続され、USB絶縁アダプターの電源がオンしている必要があります。また、そのとき読取装置の内蔵LED(p.11 図-23の②)が消灯していなければいけません。

この状態で、測定・読取操作画面(図-)で「測定開始」をクリックすると、読取装置が起動されて内蔵LEDが点灯します。

また、測定作業を終了する際は、上記画面の「戻る」をクリックすると、読取装置が機能停止して内蔵LEDが消灯します。

しかし、上記画面 [ESC]を押すと、「戻る」をクリックしなくても、プログラム全体が即座に終了しますが、読取装置の内蔵LEDは点灯したままになります。

この状態のまま、次の測定作業のために、「測定開始」をクリックすると、パソコンがフリーズしてしまいます。

「測定開始」する前に、読取装置の内蔵LEDは点灯していたら、パソコン—USB絶縁アダプター間のUSBコードを一旦外して再度差し込むか、USB絶縁アダプターの電源スイッチを一旦オフしてオンし直してください。

もし、パソコンがフリーズしてしまった場合は、[Ctrl]+[Alt]+[Delete] → Arago Professional 6.5 for windows → タスクの終了という操作で、プログラムを強制終了してください。

【更新履歴】

簡易経路測定(E-BI5)システム説明書

〒214-0008

川崎市多摩区菅北浦 2-6-8-106

経路測定研究会 神谷 博之

TEL 044-946-4384

FAX 044-946-4385

http://nico2.info/ami_project/